

子供防犯教育人材育成事業に関する 結果報告書

令和3年1月

東京都 都民安全推進本部 総合推進部 都民安全推進課

1 事業目的

子供を狙った犯罪は人の目が無くなる隙間について発生することがあり、大人による見守り活動に加え、子供自身に危険を予測し、回避する能力を身につけさせることが必要であることから、子供に対し防犯教育を行える人材を育成する。

2 事業概要（別紙「実施状況まとめ」参照）

- (1) 対象 防犯ボランティア、教員、スクールサポーター、保護者、行政職員等
- (2) 実施方法 3か年（平成30年度から令和2年度）のモデル事業として実施し、普及を図る。
年4区市町村を基本に実施（1回あたり約50人受講）
- (3) 実施場所 都内小学校等
- (4) 講師 日本こどもの安全教育総合研究所 理事長 宮田美恵子氏
- (5) 内容 防犯教育の専門家によるロールプレイング形式の講義、グループワーク等



本研修の教材として作成された
「子供防犯教育研修テキスト」

3 アンケート集計結果

(1) アンケート調査の結果

別紙「子供防犯教育人材育成事業 アンケート集計結果」のとおり

(2) 上記アンケート調査結果の要点

① 子供防犯教育人材育成の研修は今後に活かせるか【設問1-(2)】

大いに活かせる：40% 活かせる：52%

ふつう：6% あまり活かさない：1% ほとんど活かさない：1%

- ・防犯に関する具体的事例や事件などを通して研修が進んでいったので、とても勉強になった。
- ・研修テキストが具体的、実践的でわかりやすかった。今後の指導に活かしたい。

② 子供たちの安全を守るために今後希望する講習【設問1-(5)】

子供向け ・子供の目線からどんな危険があり、どんな回避方法があるかを具体的に教える。
・子供達も一緒に聞ける講習や、子供達向けの防犯講習
(ランドセルを置いて逃げる、不審な行為に注目する、大声でさけぶ、護身等)。

大人向け ・子供の見守り活動の担い手を育てる講習
・実際にあった事件について、何が問題だったのかを教えてください講習

③ 子供たちに対する防犯教育は現在の状況で足りていると思うか【設問2-(1)】

充分足りている：0% まあまあ足りている：45%

やや足りていない：50% 全く足りていない：5%

- ・防災教育と比べると防犯教育は機会が少ないので、もう少し時間をとってほしいかと思う。

※調査結果は都民安全推進本部ホームページ、大東京防犯ネットワークにも掲載します。

【問い合わせ先】

都民安全推進本部 総合推進部 都民安全推進課
担当：不破野、中垣